

目次

【紹介】	1
------	---

【講演① ～ヨーロッパ諸国の状況報告】

ジョージ・W・リースン 氏 オックスフォード大学 高齢者研究所副所長、
同大学ケロッグカレッジ上級研究員、
コペンハーゲン大学客員講師

I. 欧州における認知症・アルツハイマー病対策

はじめに	2
1. 欧州の高齢化	6
2. 認知症の人口動態	11
3. 将来の見通し：寿命は伸び続ける	15
4. 課題と困難：家庭	20
5. 課題と困難：地域社会	26
6. 欧州における対策の概要	34
7. 事例研究：ノルウェーと英国	39
8. 薬物療法	48

【講演② ～日本の状況報告】

服部 安子 氏 社会福祉法人 浴風会 浴風会ケアスクール校長

II. 日本における認知症政策の状況と課題、展望

はじめに	53
1. 「オレンジプラン」を中心とした 日本の認知症政策の最新状況	56

(1) 認知症と長寿社会	56
(2) 日本の認知症政策	62
2. 地域で認知症患者を支えるための日本の取り組みの状況、 今後の方向性.....	66
(1) 認知症高齢者の居場所	67
(2) 認知症の歴史	77
(3) 認知症ケアパス	82
3. 現場が抱える課題と提言	85
① すべての人へ …認知症の病を持った「人」としての理解と啓蒙	86
② 認知症の事業者などの管理者へ …人材不足から人材育成へ	86
③ 医療・福祉の専門職へ …認知症のケアパスと研修のあり方、家族支援	88
④ 地域で支える …地域資源の発掘と活用	93
⑤ インクルージョン …「お互い様」・地域コミュニティの再生と構築	96
【代表質疑】.....	99